

世界遺産セミナー開催報告

平成26年6月12日、善光寺講堂にて、世界遺産セミナーin善光寺を開催致しました。講師に静岡県文化・観光部富士山世界遺産課主査の大村章仁氏をお招きし、世界文化遺産「富士山」～信仰の対象と芸術の源泉～についてご講演をいただきました。

世界遺産とは、1972年にユネスコ(国連教育科学文化機関)で採択された国際条約「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」であり、2012年10月現在では締約国は190カ国あり、日本は1992年125番目に締約をされた。また、世界遺産には種類があり大きく3つに分かれている。

文化遺産

建造物群、遺跡、文化的景観など

自然遺産

地形地質、生態系、生物生息地など

複合遺産

文化遺産と自然遺産の両方の価値

富士山を世界遺産(文化遺産)に登録を



するため、山梨県・静岡県及び関係市町村では、世界遺産の評価基準に基づいた富士山の価値の証明と富士山を適切に保護・保全を定めた保存管理計画を策定に取り組み、平成23年7月には、推薦書原案を文化庁へ提出した。同年9月には、「富士山」を世界遺産(文化遺産)に推薦する事を日本は決定し、平成24年1月には日本政府がユネスコへ推薦書を提出した。その後ユネスコの諮問機関イコモス(国際記念物遺跡会議)による現地調査などを経て、平成25年6月に開催された世界遺産委員会において世界遺産(文化遺産)に登録された。

大村氏は、世界遺産として登録にされるには「顕著な普遍的価値」の重要性をお話しされました。顕著な普遍的価値とは、世界遺産にふさわしい、すばらしい価値を持っている事でありその中で富士山の顕著な普遍的価値とは「信仰の対象」「芸術の源泉」の二つであるとお話しを頂きました。また、富士山域や世界遺産富士山の保存管理体制や保全に向けた取り組みなどのお話しを頂きました。最後に大村氏は、来場された多くの市民や関係者に一番お伝えしたいことは「世界遺産登録は、ではなく、富士山を守っていくための」です。とご講演をいただきました。



すすめる会会員一覧

すすめる会は、ご覧の会員の皆様方からの年会費によって活動しております。

朝日税理士法人	信防エディックス	長野朝日放送	長野信用金庫	八十二銀行
朝日病院	信毎文化事業財団	ながの観光コンベンションビューロー	長野青年会議所	八十二文化財団
植木商店	鈴木土地	長野北ロータリークラブ	長野設計協同組合	福澤商店
エーシー工設計	炭平コーポレーション	長野ケーブルテレビ	長野通運	藤森建設工業
FMぜんこうじ	駿専青木商店	長野県経営者協会長野支部	長野都市経営研究所	ペイクックコーポレーション
FM長野	善光寺	長野県建築士事務所協会	長野トヨタ自動車	ホテル国際21
エムケー精工	善光寺木遣り保存会	長野県社会保険労務士会	長野トヨペット	増田商会
おらが園	善光寺まちづくり会議	長野県信用組合	長野西ロータリークラブ	松澤工業
カシヨ	善光寺淵之坊	長野県信用農業協同組合連合会	長野東ロータリークラブ	松田・南信
北野建設	損保ジャパン長野支店	長野県中小企業団体中央会長野支部	長野放送	マツヤ
倉田博光会計事務所	第一建設工業長野支店	長野県芸術文化協会	長野ユネスコ協会	マルイチ産商
小池新聞店	泰和	長野小売酒販組合	長野ロータリークラブ	萬佳亭
国際ノブチミスト長野みすず	タカチホ	長野国際親善クラブ長野市設計協会	中村建築研究所	ミヤテック
小林歯科医院	高野総本店	長野市電設業協会	中山法律事務所	宮本忠長建築設計事務所
西條被服	滝沢無線	長野酒造協会	夏目	明和印刷
信濃毎日新聞社	長印	長野商工会議所	日新電機製作所	元善町
シューマート	鶴賀病院	// 篠ノ井支部	日本通運長野支店	山口司法書士事務所
信越定期自動車	テレビ信州	// 松代支部	日本機材	八幡屋儀五郎
信越放送	電算	長野商店会連合会	日本旅行長野支店	
信州製袋	東邦商事		野村證券長野支店	

(50音順)

平成26年10月現在 ※表記等で間違いや訂正などございましたら事務局までご連絡下さい。

編集後記

近年では、富士山や富岡製糸場が世界遺産に登録された事が記憶に新しいですが、こうした話題が増えた事によって国民の関心も非常に高まり、次の登録を目指す各地の勢いも同様に増えています。このような中、まずは国内暫定リストへの登録を目指す「善光寺と門前町」は、2015年には御開帳を迎えます。この貴重な機会にさらなる関心や理解を深め、長野県初の世界遺産登録となるよう進めて参りたいと存じます。



Vol.12
2014.DEC

NEWS LETTER

善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局 ■ 公益社団法人 長野青年会議所 内
Tel : 026-228-3260
http://www.sekaisan-zenkoji.jp/

ごあいさつ



善光寺の世界遺産登録をすすめる会
会長 北村 正博

善光寺を世界遺産に登録しようと呼びかけが始まり、多くの皆様のご支援を得て「善光寺の世界遺産登録をすすめる会」が発足し、本年で13年目を迎えました。近県では「富士山」「富岡製糸場と絹産業遺産群」と世界遺産関連のニュースが相次ぎました。当会も引き続き、重要伝統的建造物群保存地区の取り組みを着実に進め、「カテゴリ1b継続審査案件」から「世界遺産暫定リスト」への記載昇格を目指していきます。

来年3月14日には北陸新幹線(長野経由)が金沢まで延伸開業し、4月5日から5月31日まで57日間にわたり「善光寺前立本尊御開帳」が開催されます。現在、長野駅や善光寺表参道などの整備や多くの参拝客を迎えるおもてなしの気運醸成が進む中で、この世界遺産登録活動そのものを今まで以上に長野市民に周知することも必要不可欠です。さらに来春は全国に向けてこの運動をアピールする絶好の機会でもあると考えています。

今後とも、多くの人々に愛され暮らしの中心にある善光寺と門前町の文化、さらに長野の魅力を発信していきますので、一層のご理解ご協力をお願いいたします。



善光寺御開帳の様子



平成26年6月30日、前文化庁長官で本年から長野県文化振興事業団の理事長に就任された近藤誠一先生と善光寺の世界遺産登録に向けた懇談会を長野市内のホテルにて開催しました。

すすめる会からは北村会長、池田議長、善光寺事務局の内田寺務総長、専門委員の信州大学土本教授をはじめ、幹事会と長野青年会議所事務局に加え、長野市教育委員会の出席のもと約1時間にわたり懇談を行いました。

まず善光寺の世界遺産登録をすすめる会の活動報告や経緯、文化庁に提出した提案書の概要について説明。善光寺のもつ歴史や精神性、門前町の町並みや宿坊、仲見世の伝統的建造物群の特徴などについて資料をもとに説明しました。

近藤理事長からは、善光寺と門前町は規模、歴史をみれば世界遺産登録にふさわしいスケールや保存状態が整っているとして、その可能性は十分にあると思われる



近藤誠一氏

昭和21年生まれ。小学校6年から高校まで鎌倉で過ごす。昭和47年に外務省に入省、広報文化交流部長などを経て、平成18年から20年までユネスコ日本政府代表部特命全権大使、同年9月から駐デンマーク特命全権大使を歴任、平成22年7月30日、第20代文化庁長官に就任、平成25年7月8日退任。在任中は、「文化財レスキュー事業」などの東北復興支援のほか、一貫して日本文化を世界へ発信し続け、ユネスコ世界遺産委員会においても富士山の登録を成し遂げた。

しながらも、世界に向けて日本の文化、歴史をどのようにアピールするのか十分な検討と研究が必要であることを石見銀山や富士山などの世界遺産登録で自ら経験したことをもとに説明されました。さらに世界遺産に登録されることが相応しいと考えられる物的な証拠を整理し、範囲を明確にすること。そしてあいまいでグレーな部分は全体の価値を薄めてしまい評価が下がるので、構成資産をしっかりと絞り込むことが重要だと助言されました。

また比較研究も重要であり、世界に似たようなものがないか、他の文化の垂流ではなく独自の代表性をもっていることの相違を

説明してほしいと指摘されました。世界的な眼でみて、欧米人と日本人の精神性の違いを強調し、善光寺の特色のなかにある世俗的なものもつ日本的な独自の文化をしっかりと説明してほしいと助言されました。

最後に、今後も継続的にこのような指導助言を頂けることをお願いすると共に、世界遺産登録に向けて力になっていただけると快諾を頂きました。さらに青年会議所のような若い世代が地域の魅力、歴史や文化を後世に残す動きをしていることについても前向きに評価され、当会としてもうれしい前進を感じた懇談でした。

本年、10月7日、当会として長野市長就任後初のインタビューさせて頂く機会を頂戴しました。当会では、前会長にあたる加藤市長に市長就任後どのように世界遺産に向けて運営等を進めて行くべきか4つの質問をさせて頂きました。

- 1 門前町を有する長野市のリーダーとして
- 2 重要伝統的建造物群保存地区に対する長野市の期待について
- 3 世界遺産国内暫定リスト入りへの対策について
- 4 今後の意気込みビジョンについて

以上、4つの質問に答えていただきました。



1、門前町を有する長野市のリーダーとして

長野市は1400年に渡り、善光寺門前町として発展してきました。

改めて善光寺の大きな影響が老若男女、どんな宗派も受け入れる、開かれたお寺と言う事で庶民信仰の確固を成し遂げてきたと感じております。

又、善光寺ならびに門前町を含め中心的な役割を果たしており、年間600万人、ご開帳となれば1200万人、今後は新幹線の効果により関西・北陸方面からも足を運んで下さる事を想像すると、そうとうの多くの皆様のより所となり、市長とし長野市の大きな歴史的・文化的遺産を全国に発信していく責務があると思っております。

2、重要伝統的建造物群保存地区に対する長野市の期待について

善光寺周辺の宿坊・仲見世など長野市の中心的役割を果たし、長野市の宝と感じております。

重要伝統的建造物群保存地区に登録されると、この宝が後世に引き継がれる形となるのですが地元の皆様のご理解も必要となってまいりますので、皆様のご理解を頂けるよう、私どもも、ご理解いただける丁寧な説明を申し上げ、一緒になり大きな目標に向かい進めていければと思っております。この歴史的・文化的建造物を後世に伝

え、皆で町並みを守り続け、更なる発展を望める体制を作っていければと考えております。

3、世界遺産国内暫定リスト入りへの対策について

今後の対策とし、私が感じる事は、より深く学術的な調査・研究を行い今一度、日本の固有文化・歴史・思想を世界に向けてどうアピールして行くかがカギとなると思っております。

日本国内・海外から善光寺はどのようなポジションなのか、門前町はどういった価値があるのかを時間を掛けてでも十分に皆で考えていかなければと感じます。

国内前提リストに入選すれば長野の象徴とし、更に善光寺が発展して行き市民に対しても望ましい結果となり市民の皆様が誇りと思える事が長野の資産になると考えます。

4、今後の意気込みビジョンについて

本当に善光寺世界遺産登録と言う大きな目標の実現に向けて、私も善光寺世界遺産登録をすすめる会の会長もやってまいるので、是非とも世界遺産登録されるように私も全力を尽くしたいと思っております。

善光寺の更なる前進・発展を市民の皆様と協力し合い、世界遺産登録を実現してゆけるよう邁進して行きたいと思っております。

